

嘉数高台で習んだ事

平

新和 月間

令和3年度
宜野湾市平和大使
普天間中学校
1年 川満 咲季



トーチカとは
トーチカは嘉数高台公園にあり、鉄筋コンクリートなどで堅固に造られた防衛陣地のことであり、トーチカとはロシア語で「点」や「拠点」を意味している。「銃眼」とよばれる窓から機関銃などを出して相手を攻撃していた。トーチカ内は四〜五人入ることかできる広さで、中は涼しく、快適だった。



嘉数高台の戦いで負傷した兵士も民家で養い、対価として家事を手伝いをしたり、その集落である行事に参加したりなどをして住民と好友関係も築いたと考えられた。その他にもそれぞれの家にあるアルバムと数字が書かれており、それぞれその地区の頭文字とその家の番地が書いてあり、これによつてその家を支配していることがわかった。



本から伝わる戦争

ペリリュー島の戦争

この本はマンガとなっていて、実際にある島パラオを舞台にしてあったかもしれない物語がつづられており、中見を見るとさまざまな描写が描かれており、戦争がどんなものなのかよくわかる本だった。

作者は武田一義さん。

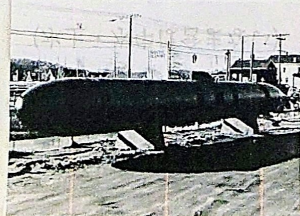
特攻最後の証言

この本は100歳と98歳の兄弟の岩井忠正さんと岩井忠能さんの実際に体験したことが書かれている。



「諸君に死んでほしい」
「これが貴様たちの棺桶だ」

人間魚雷・回天



訓練では死ぬような思いを何度しましたという。

感想

今回の二日間にわたる事前学習では知っていることを振り返り、より考えを深めることができたり、新しいことを知ることができたり新たな考えがふくらんだりなど、たった二日間でしたがそれだけでも皆さんの情報と知識を得ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

